

静止画撮影・映像制作のニーズに応えるズームレンズ“RF24-105mm F2.8 L IS USM Z”と 快適なズーム制御をサポートするパワーズームアダプター“PZ-E2”／“PZ-E2B”を発売

キヤノンは、「EOS R システム」の交換レンズ「RF レンズ」の新製品として、静止画撮影はもちろん、映像制作現場のニーズにも応える大口径標準ズームレンズ“RF24-105mm F2.8 L IS USM Z”^{※1}を2023年12月上旬に、パワーズームアダプター“PZ-E2”^{※2}／“PZ-E2B”^{※2}を2024年3月に発売します。



RF24-105mm F2.8 L IS USM Z
* パワーズームアダプター PZ-E2B 装着時



パワーズームアダプター PZ-E2／PZ-E2B



ズーム全域で開放 F 値 2.8 と高画質を実現

“RF24-105mm F2.8 L IS USM Z”は、広角 24mm から中望遠 105mm までの焦点距離を 1 本でカバーしながら、ズーム全域で開放 F 値 2.8 を実現する大口径標準ズームレンズです。幅広い撮影シーンで高画質を実現する静止画撮影に加え、ボケ味や露出の調整をより直感的にコントロールできるアイリスリング（絞りリング）の搭載や、パワーズームアダプター“PZ-E2”／“PZ-E2B”への対応により、快適な動画撮影を実現します。

■ 24mm から 105mm の焦点距離をカバーしながらズーム全域で開放 F 値 2.8 と高画質を実現

「RF マウント」の特長である大口径・ショートバックフォーカス^{※3}を生かし、撮像面の近くに大口径レンズを配置することで、24mm から 105mm の焦点距離をカバーしながらズーム全域で開放 F 値 2.8 を実現し、静止画・動画撮影における幅広い撮影ニーズに対応します。さらに、「非球面レンズ」3 枚、「UD レンズ」^{※4}4 枚を効果的に配置した 18 群 23 枚の光学設計により、画質に定評のある「RF24-70mm F2.8 L IS USM」（2019 年 9 月発売）と同等の高画質を達成しています。

■ 手ブレ補正機構やアイリスリングなどの搭載により快適な撮影を実現

レンズ内光学式手ブレ補正機構により 5.5 段^{※5}、ボディ内手ブレ補正機構を搭載している EOS R シリーズ^{※6} のカメラとの組み合わせでは、カメラとレンズによる協調制御を実現し、「EOS R3」（2021 年 11 月発売）装着時は、8.0 段^{※7}の手ブレ補正効果を発揮します。さらに、シネマレンズに近い軽く滑らかな操作性を実現するアイリスリングを RF レンズとして初めて搭載し、動画撮影時におけるボケ味や露出の調整をより直感的にコントロールすることが可能です。

■ 高度なズーム制御と優れた操作性を実現するパワーズームアダプター“PZ-E2”／“PZ-E2B”

撮影者の意図に合わせて、無段階に低速から高速まで細かくズーム速度の調整ができ、動画撮影時の高度なズーム制御と優れた操作性を実現しています。ズーム駆動には、放送用レンズやシネマレンズで実績のある DC モーターを採用し、素早いズーム操作と、滑らかな低速ズームを両立しています。また、簡単な着脱と小型・軽量設計を実現することで、手持ち撮影やリグ・三脚・ジンバルなどを使用した撮影など、さまざまな撮影スタイルに対応します。

※1. 対応カメラやそれぞれのカメラに対応する機能については、キヤノン公式 WEB サイトをご確認ください。
 ※2. 対応レンズは、“RF24-105mm F2.8 L IS USM Z”。2023 年 11 月 2 日時点。“PZ-E2B”は 20pin 端子を搭載。
 ※3. 最後部のレンズ面の頂点から撮像面までの光軸上の距離が短いこと。
 ※4. UD（Ultra low Dispersion=特殊低分散）ガラスを用いたレンズ。
 ※5. 焦点距離 105mm、「EOS R」（2018 年 10 月発売）使用時、CIPA 規格に準拠（Yaw/Pitch 方向）。
 ※6. 協調制御対応カメラはキヤノン公式 WEB サイトをご確認ください。
 ※7. 焦点距離 105mm、CIPA 規格に準拠（Yaw/Pitch 方向）。

| 製品名 | 希望小売価格 | 発売日 |
|----------------------------|--------|---------------|
| RF24-105mm F2.8 L IS USM Z | オープン価格 | 2023 年 12 月上旬 |
| パワーズームアダプター PZ-E2 | | 2024 年 3 月 |
| パワーズームアダプター PZ-E2B | | |

- 一般の方のお問合せ先
- EOS ホームページ

：キヤノンお客様センター
：canon.jp/eos

0570-08-0002

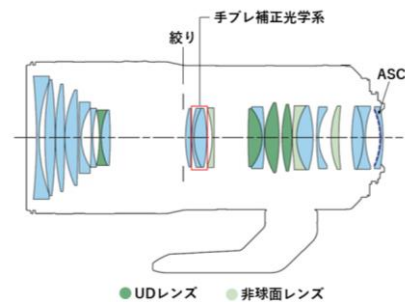
〈“RF24-105mm F2.8 L IS USM Z”の主な特長〉

1) 24mm から 105mmの焦点距離をカバーしながらズーム全域で開放 F 値 2.8 と高画質を実現

- 「RF マウント」の特長である大口径・ショートバックフォーカスを生かし、撮像面の近くに大口径レンズを配置することで、24mm から 105mm の焦点距離をカバーしながらズーム全域で開放 F 値 2.8 を実現。静止画・動画撮影における幅広い撮影ニーズに対応することが可能。
- F2.8 の明るい開放絞り値による豊かなボケ味を生かした撮影や、レンズの明るさを生かして速いシャッタースピードを設定することで、被写体ブレを抑えた撮影が可能。
- 「非球面レンズ」3 枚、「UD レンズ」4 枚を効果的に配置した 18 群 23 枚の光学設計により、画質に定評のある「RF24-70mm F2.8 L IS USM」と同等の高画質を達成。
- 2つのフォーカス群を2つのナノUSM（超音波モーター）で独立駆動させる電子式フローティングフォーカス方式を採用することで、無限遠から至近までの高画質を実現。
- 特殊コーティング「ASC（Air Sphere Coating）」をレンズ面に採用することで、レンズ内の光の反射が撮影画像に入り込んでしまうフレアやゴーストの発生を低減。
- 最大撮影倍率 0.29 倍※、ズーム全域で最短撮影距離 0.45m を実現し、近接撮影を生かした撮影表現が可能。



ズーム全域で開放 F 値 2.8 と高画質を実現



RF24-105mm F2.8 L IS USM Z の光学構成図
(焦点距離 24mm 時)

※ 焦点距離 105mm 時。

2) 手ブレ補正機構やアイリスリングなどの搭載により快適な撮影を実現

- レンズ内光学式手ブレ補正機構により 5.5 段の手ブレ補正効果を実現。
- ボディー内手ブレ補正機構を搭載している EOS R シリーズのカメラとの組み合わせでは、カメラとレンズによる協調制御を実現。「EOS R3」装着時は、8.0 段の手ブレ補正効果を発揮。
- クリック感のない軽く滑らかでシネマレンズに近い操作性を実現するアイリスリングを RF レンズとして初めて搭載し、動画撮影時のボケ味や露出の調整をより直感的にコントロールすることが可能。



手ブレ補正機能 ON



手ブレ補正機能 OFF



アイリスリングを搭載

(「EOS R5」で撮影、焦点距離 70mm、1/15 秒、F4.0、ISO800)

3) 幅広い撮影シーンに対応する操作性・信頼性

- 全長固定ズームとすることで、カメラ全体の重心が変化しにくく、安定したフレーミングと快適な撮影をサポート。また、リグやジンバルなどの動画撮影用アクセサリーの取り付けにも好適。
- 着脱が容易な三脚座を標準装備。工具不要で簡単に着脱ができるため、撮影スタイルの変更に迅速に対応可能。また、リグを組む際にレンズを固定できるレンズホルダー（別売り）の新製品「LH-E1」（2023年12月上旬発売予定）にも対応。
- 「L レンズ」ならではの耐久性・堅牢性を実現。操作リングやスイッチ、ボタンなどに防じん・防滴構造を採用※。
- レンズの最前面に油や水滴が付着しにくいフッ素コーティングを採用。

※ 防じん・防滴に配慮した構造になっていますが、砂じんや水滴などの侵入を完全に防ぐことはできません。



着脱が容易な三脚座を標準装備

〈パワーズームアダプター“PZ-E2”／“PZ-E2B”の主な特長〉

1) 動画ユーザーの要求に応える高度なズーム制御性能

- ズームスピード調整ダイヤルを回すことで、撮影者の意図に合わせて、無段階に低速から高速まで細かくズームスピードの調整が可能。
- ズーム駆動には、放送用レンズなどで実績のある DC モーターを採用。素早いズーム操作と、滑らかな低速ズームを両立。

2) さまざまな撮影スタイルに対応する優れた操作性と多様な機能

- レンズへの簡単な着脱と小型・軽量設計を実現することで、手持ち撮影やリグ・三脚・ジンバルなどを使用した撮影など、さまざまな撮影スタイルに対応。ワンマンオペレーション時も快適な撮影を実現。
- 本体スイッチによる操作に加え、カメラ側の操作や「EOS Utility」「Camera Connect」によるリモート操作にも対応※¹ し、撮影スタイルやシステム構成によってさまざまな操作方法を選択可能。
- 別売りの USB 電源アダプター「PD-E1」（2019年2月発売）に対応。USB-C 端子から給電しながら撮影でき、カメラからの供給電力を削減し、ズームスピードの最高速度を速くすることが可能。
- “RF24-105mm F2.8 L IS USM Z”と同等の防じん・防滴性能を実現※²。
- “PZ-E2B”は、20pin 端子を搭載することで、シネマレンズや放送用レンズのアクセサリーを使用することができ、別売りのズームサーボグリップ「ZSG-C10」（2016年10月発売）やズームデマンド「ZSD-300D」（2000年7月発売）、「ZSD-380D」（2000年3月発売）、フォーカスデマンド「FPD-400D」（2000年7月発売）などを使用した操作も可能※³。



さまざまな撮影スタイルに対応

※¹ 対応機種は EOS R3／EOS R5（2020年7月発売）。2024年3月公開のファームウェアの適用が必要です。

※² 防じん・防滴に配慮した構造になっていますが、砂じんや水滴などの侵入を完全に防ぐことはできません。

※³ アクセサリー使用時の注意事項は、使用説明書をご確認ください。

〈製品仕様について〉

製品仕様の詳細はキャノンホームページをご参照ください。 <https://cweb.canon.jp/eos/rf/lineup/rf24-105-f28lz/>